

関西学連定例戦

平成 27 年 5 月 17 日 奈良県 馬見丘陵公園

横田実

恒例の関西学連定例戦。今回は、奈良の馬見丘陵公園での大会です。

起伏のある公園

馬見丘陵は、香芝市・広陵町・河合町など 2 市 3 町に跨る標高 70m 程度の東西約 3km、南北約 7km に及ぶ低い丘陵地で、この丘陵は馬見古墳群のエリアと一致し、古墳の集積地となっています。

今回は、その東側に作られた公園の、南エリアを中心にコースが組まれていました。

細かいレグの MA クラス

今回は、クラス分けが少なく、M A クラスに参加。

公園のわりには、地形がはっきりしていて、読み易かったのだが、やはり柵や石積みに戸惑ってしまった。地図をそこまで読み込めずに、近くに行って回り込むことになり時間ロス。15番では、何も考えずに目の前にあった登りをのぼってしまい「？」状態。最近、こんなことが続いています(_ ;)。

当然、タイムも伸び放題。体力よりも、読図力の方が落ちてきている気がします。



スタート地区の様子

お楽しみミニ・リレー

今回も、個人レース後に 3 人でのリレー競技が行われました。

個人と違って応援でも盛り上がるリレー。こんな風に、大会後におまけでもあると、楽しめますね。

(横田実)



フィニッシュ地点

